

(1) 令和5年度の事業計画について

①指定文化財保存・管理事業

(ア) 清掃管理委託

二子山石器製作遺跡・三ツ石、黒松古墳群・合志義塾跡、虚空蔵さん、豊岡宮本横穴群、
医音寺跡、生坪塚山古墳・石立石棺、笹塚古墳、桑鶴遺跡 計 11 箇所

(イ) 文化財説明看板設置業務 (陣ノ内遺跡・永田支石墓・黒石日吉神社「淵源回顧の碑」)



▲陣ノ内遺跡看板



▲永田支石墓看板



▲黒石日吉神社「淵源回顧の碑」看板予定地①



▲黒石日吉神社「淵源回顧の碑」看板予定地②

(ウ) 埋蔵文化財発掘調査

平成 29 年度～令和 4 年度分の試掘・確認調査報告書を作成予定である。

開発が増加傾向にあり、その対応として、国庫補助金による市内遺跡発掘調査を行う。また、中九州横断道路や TSMC 関連の開発に伴う発掘調査が来年度以降、発生する見込みであるため整理作業室や人員の確保が急がれる。

(エ) 社寺調査

竹迫日吉神社神像、清寿院跡仏像、竹迫観音堂の仏像などの調査を依頼する (6 月 24・25 日) 予定である。



▲竹迫日吉神社神像



▲清寿院跡仏像

(オ) 市指定有形文化財平島の大太鼓修復事業について

内容 / 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
搬出		5/7										
修復		→										
設置				7/23								
お披露目式				7/30								



▲太鼓の搬出



▲内面の墨書

②合志市歴史資料館運営事業

(ア) ふるさと探訪まちめぐりバス

回／開催日	「タイトル」／ 内容
第1回 4月27日(木) 5月10日(水)	「合志市ふるさとカルタの札を巡る(3回目)」(参加者 25名) ■「は」～「も」の読み札(取り札)の該当する文化財・名所・旧跡を巡る
第2回 10月25日(水) 11月9日(木)	「阿蘇神社及び南阿蘇の震災遺構を巡る」(募集 30名) ■阿蘇神社➡元東海大キャンパス跡➡震災記念館「轍」(ガイド付き)を巡る
第3回 11月29日(水) 12月5日(火)	「合志市の地名その由来と伝承の地を巡る(旧合志町)第1回」(募集 30名) ■旧合志町の地名の由来を学び、市内に出てその地名の由来の地・旧跡を巡る

(イ)子ども歴史科学体験教室

回	開催日	活動名	場所
1	5月14日(日)	「エイリアンの卵を作ろう」他	サブアリーナ
2	6月17日(土) 6月18日(日)	「水とあそぼう」	調理実習室
3	7月25日(火)	「県立装飾古墳館」で学ぼう	県立装飾古墳館
4	9月30日(土) 10月1日(日)	第1回「古代人のペンダント勾玉をつくろう」	工芸実習室
5	未定	森とあそぼう	弁天山公園
6	10月11日(水)	「化石採集と恐竜博物館見学」	御船町
7	12月10日(日)	「サイエンスマジックショー&回るシャボン玉をつくろう」	サブアリーナ
8	12月26日(火)	「熊本博物館」&「熊本城」で学ぼう	熊本博物館・熊本城
9	1月20日(土)	電気クラゲ(静電気)であそぼう	サブアリーナ
10	3月28日(木)	「合志市ふるさとカルタ」の札を巡る	合志市内
予備日	2月17日(土) 2月18日(日)	第2回「古代人のペンダント勾玉をつくろう」	工芸実習室

(ウ) 特別展ほか

「合志市の地名 その由来と伝承」をテーマに令和5年7月から令和6年1月まで特別展を実施する。合志市の大字に関する地名をQ&A方式にして示す、行政区別の地名の由来を紹介する、合志市にある山や川、近隣市町の名前の由来など内容を工夫し、カラフルなパネル(31枚)にして展示する。

(エ) 合志市ふるさとカルタ活用

合志市ふるさとカルタ台湾語訳を印刷予定である。

(オ) 資料館保管カセットテープデジタル変換

過去における祭りの映像記録(カセットテープ)をDVDに録画し、記録保存を行う。

③文化財保護委員会運営事業

(ア) 令和5年度文化財保護委員会年間計画

内容	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
文化財保護委員会会議(全4回)			○			○			○				○
熊本県文化財保護協会総会			○										
熊本県文化財保護協会研修											※		→

※令和6年1月17日(水)「島津氏・龍造寺氏の肥後侵攻と城」鶴嶋氏(肥後考古学会副会長)総合センター「ヴィーブル」で熊本県文化財保護協会研修会が実施される予定である。

(イ) 文化財情報(標柱・説明看板・場所案内板の有無や現況)の調査

2年にわたり各地域の文化財位置情報を把握して頂いた。今年度は、文化財(調査済)の「標柱」・「説明看板」・「場所案内板」の調査をお願いしたいと考えている。市民の方々の文化財に対する興味・関心を深めていくために、案内板や説明看板の充実を図る必要があ

ると考え、今年度の調査をお願いすることとした。確認作業時に、「文化財の現況（草などに覆われている・破損・確認できない）」などの現況の調査もお願いしたい。調査期間は、令和5年5月から令和7年3月までの約2年間で予定している。

地区	R3	R4	R5
上庄・福原・豊岡	緒方・澤田	緒方・澤田	緒方・齋藤
合生・上生	正泉寺	正泉寺	正泉寺
竹迫・栄・幾久富	稲岡・坂本	稲岡・坂本	稲岡・坂本
野々島・御代志	木村・松尾	木村・松尾	木村・松尾
合生・須屋	野口	星子	星子

④伝統郷土芸能等支援事業

	団 体	令和5年度予算額	令和4年度実績額
1	須屋太鼓保存会	¥72,000	¥72,000
2	須屋神楽保存会	¥77,000	¥77,000
3	西合志弁天太鼓保存会	¥72,000	¥72,000
4	弘生ウソ替保存会	¥23,000	¥23,000
5	合志市郷土史愛好会	¥71,000	¥71,000
6	須屋小屋地藏祭実行委員会	¥80,000	¥80,000
7	上庄城山祭り実行委員会	¥80,000	¥0
8	竹迫観音祭保存会	¥122,000	¥122,000
	合 計	¥597,000	¥517,000

(2) その他

① 市指定文化財候補の検討について（別紙参照）

平成24年度以降、文化財の指定は更新されていない。近年、専門家の調査により価値が見直される事例もあるため検討を行いたい。黒石原（飛行場）奉安殿跡、後川辺古墳における方墳の可能性や八反原遺跡の馬埋葬に伴う鉄製品、社寺調査の仏神像、金澤流浄瑠璃本、黒石日吉神社「淵源回顧の碑」や「禁酒禁菓の碑」などが挙げられる。